

## 令和3年度第1回鹿児島県地域医療構想調整会議 開催結果

1 日時：令和3年10月5日（火）18:00～19:30

2 開催方法：オンラインにより開催

3 出席者：15名

池田琢哉，野村秀洋，菊野竜一郎，久留敏弘，來仙隆洋，佐藤昭人，  
手塚善久，小倉修，田上寛容，向井奉文，坂本泰二，山田理佳，  
四元俊彦，福元俊孝，谷口浩一

4 傍聴者：17名（報道機関1名含む）

### 5 議題

- (1) 会議の公開・非公開について
- (2) 定量的基準見直しに係る検討について
- (3) その他

### 6 協議等結果

- (1) 会議の公開・非公開について  
公開とする

- (2) 定量的基準見直しについて

ア 高度急性期の取扱いに係る定量的基準見直しについて  
案1 - a\*を採用し，定量的基準を改訂することとなった。

※重症度，医療・看護必要度Ⅰ：56%以上  
重症度，医療・看護必要度Ⅱ：40%以上  
平均在棟日数要件なし

<主な意見>

- データをしっかりと検討しており，専門部会でも了承されている。案1 - a採用に賛成。
- 齟齬が少ないという点では良い。地域としては高度急性期と急性期は，なかなか分類できないところがあるので，病床数としては急性期と高度急性期を含めた形の検討が妥当。
- 案1 - aで概ね問題ない。地域の実情にそぐわない部分が出てきた時には，再度見直しについて検討をしていただきたい。

イ 有床診療所の取扱いに係る定量的基準検討について  
有床診療所の取扱いの見直しは行わないこととなった。

<主な意見>

- 病床機能再編支援事業において，病床機能報告で選択した医療機能によって給付金支給可否に大きな影響が出るため，有床診療所についても一定の基準を設けるべきとの意見はあるが，実際には非常に難しい話であるので，今までのとおり基準を変更しないことに賛成。ただし，給付金については，不公平感が出ないような仕組み等の検討が引き続き必要。

- (3) その他

事務局から，地域医療構想に関する国の動向について説明を行った。